

満開の藤がまつりを華やかに彩る

「藤寺」の愛称で親しまれている定禅寺(弁城)で、4月20日に「藤まつり」が開催されました。当日は生憎の雨でしたが、毎年恒例の本行事を心待ちにしていた多くの花見客が来訪。約800㎡の境内一面に咲き誇る満開の藤の中、虚無僧による尺八奉納など厳かな祭事が行われ、藤のさらなる長寿を願いました。



↑「誰にも接し、愛でてほしい」との意が込められている福岡県天然記念物の藤。

防災意識の芽を育んだ防災授業と試食

町立学校5校は、町から寄贈された防災食を活用した防災授業を行いました。伊方小の3年生42人が参加した授業では、防災食「アルファ米のワカメご飯」の作り方や、自宅付近に潜む災害の危険性を学習。児童たちは「もしもの時に命を守るため、学んだことを家族に伝えたい」と真剣なまなざしを向けていました。



↑授業後にワカメご飯を試食した児童たち。「想像していたよりも美味しい!」

↓油絵教室「青陽会」を指導する筑豊画壇の巨匠・是澤清一さんの作品も展示。



アーティストの個性が光る油絵ずらり

油絵教室「青陽会」が、4月9日から6日間、上野焼陶芸会館内「ギャラリー陶」で「第31回 青陽会」を開きました。会場内には、会員6人の個性や想いが伝わる趣向に富んだ30点を展示。来場者たちは、アーティストによって異なる絵のタッチを感じつつ、自身の思い出と重ね合ながら鑑賞を楽しんでいました。

↓「福祉事業全般に活用してほしい」と町社会福祉協議会へ82,000円を寄付。



福智の夜を鮮やかに照らしたデコトラ

九州アートトラック愛好会エンド★ラスト主催の「第22回チャリティー撮影会」が、3月30日に金田ふれあいイベントパークで行われました。福智に集結した約200台のデコトラを見ようと町内外から約1000人が来場。熊谷博幸会長は「チャリティーイベントを通じ、町の活性化とデコトラの魅力発信をしたい」と目を細めました。

↓子どもたちが主役の春の風物詩として地域に根付いてる、毎年恒例の金田菅原神社神幸祭(町部)。



期待を胸に170人が新生活をスタート

町内の小学校・金田義務前期で4月10日に入学式が行われました。今年度の新一年生として合計170人(上野小:3人/市場小:39人/弁城小:5人/伊方小:56人/金田義務前期:67人)が入学。上野小の新入生は、少人数ながらも大きな声で返事するなど「これぞ、上野っ子」という元気の良さで入学式に臨んでいました。



↑6年生によるミュージカル調の学校紹介で小学校生活に胸を膨らませた新入生。

↓「スマホで確認できるのは便利。来年も続けてほしい」と早くも継続を望む声も。



SNSで成長を見守った桜と感動の対面

福智山の谷あいにはひっそりと咲く孤高の名桜「虎尾桜」が、平年よりも遅い3月29日に見頃を迎えました。今年は、町が「虎尾桜の開花状況」に関する毎日配信をInstagram公式アカウントで初実施。蕾から花開く様子を画面越しに見守った人々らが虎尾桜を訪れ、満開に咲き誇った緋色の美しい姿を仰ぎ眺めました。